

「ホストファミリーを経験して」

池田 真由美

以前より、ホストファミリーには興味がありましたが、娘のぜひホストファミリーを経験したい！という強い希望があり、今回初めて応募し体験させていただきました。

我が家に来てくれたタイからの留学生と対面式で初めてお会いしたときは、お互い緊張していましたが、留学生の日本語がとても上手なこともあり、自己紹介をしたり、新潟で行ったことがある場所などをいろいろお聞きしているうちに和やかな雰囲気になり、2日間一緒に過ごせることをとても嬉しく感じました。

1日目は、対面式の後ふるさと村へ行き、まずバザール館で新潟の暮らしや歴史などの展示と一緒に見学をしました。春に新潟へ来た際に雪を見たことがあったそうですが、雪国体験コーナーと一緒に雪に触れ、とてもいい経験ができました。来年の2月に帰国されるとのことでしたので、大雪にならないといいね。などと話していました。当日は、とても暑かったので西区にある有名なかき氷屋さんへ行きましたが、とても混んでいたのが残念ながら諦めて自宅へ帰りました。

夕飯は、一緒にタコ焼きを作りました。せっかくなので、タイ料理を教えてくださいと話し、娘と留学生と一緒に近所のスーパーへ買い物に行き、日本のスーパーで調達できるタイ料理と一緒に作りながら、教えてくださいました。子どもたちにも好評でとても美味しかったです。その晩もとても暑かったのですが、子どもたちと一緒に花火をしたりして過ごし、実家の母が留学生に浴衣をプレゼントしに駆けつけ、着付けをしてくれました。とても喜んでいただけただけで良かったです。

2日目は、新潟県立自然科学館へ行き、特別展示や3Dシアターと一緒に見学しました。常設展示で、けん玉や知恵の輪を楽しみながら体験をしました。その日の昼食は回転寿司へ行き、その後自宅で少し休んでから、解散場所の新潟駅までお送りしました。

今回ホームステイの受け入れを経験し、子どもたちはタイの国について、いろいろ聞くことができ、外国人の友達が出来た！ととても喜んでおりました。またホストファミリーを強く希望していた娘は、現在英語を勉強していることもあり、留学生の日本語を学び、一生懸命話す姿にとっても感動している様子でした。また機会がありましたら、ぜひ応募したいと思います。このような機会を与えてくださり、感謝申し上げます。有難うございました。

“素敵なお方でした”

板越 麻美

わが家に来て下さった方は、中国出身の方でした。

「中国」というと、テレビや新聞でも話題になる事の多い隣国です。

早速どんな国なのか？と話題になりました。

…とは言っても、小学生の勉強です。

人口が多い事や、国の面積が広い事などを学んでスタンバイ。

当初、英語が必要なのでは？と、今時の小学生2人、助っ人依頼をしていました。

が、そんな心配をよそに、流暢な日本語で会話をさせていただきました。

小学生が3人です。みんなで大盛り上がり。

子どものために国際交流を！と考えていたわが家にとって、とても楽しく、そして、少し中国の事を学べた1日でした。

常に予定のある娘に付き合ってください、和太鼓の練習と一緒に同伴。太鼓の先生のリクエストで、得意のダンスを披露していただいたり、みんなで手巻き寿司をしたり。

次の日もバタバタと予定が入り、ゆっくり昼食もできずじまい。疲れさせてしまったのでは？と反省と後悔が残っています。

一緒に行った弥彦神社では、子ども達みんなにお守りをプレゼントしていただきました。無事、全員に渡し、今年の夏の良い思い出になりました。

夢に向かって頑張っている姿は子ども達にとって、きっと良い影響となったと思います。ありがとうございました。

「初めてのホストファミリー体験」

岩切 慧

異文化交流の良い機会と思い、育児休暇中に思い切って初めてホームステイを受け入れました。ゲストはベトナムの方と知り、コミュニケーションの言葉が心配でしたが、事前にやり取りをしたメールから日本語がとても上手なことが分かり安心しました。

対面式のあとは旧齋藤家別邸でお屋敷やお庭を見て抹茶をいただきました。それからピア万代で新潟近海でとれる魚や地元の野菜を見て夕食の買い出しを。その日の夕食は、ゲストがベトナム料理のフォー、とうもろこしのチャーを作ってくれました。家中がエスニックな香り！お土産に持ってきてくれたベトナムのお茶と一緒にとても美味しくいただきました。夜は本町で行っていた千灯まつりへ。きれいな灯のついた灯籠を見て楽しみました。

2日目はお味噌汁とご飯の日本食から始め、村上市へ行きました。笹川流れや塩引き鮭のお店を見学し、天ぷらそばを食べて海に入って足湯を体験し、日本文化満喫デーになりました。道中はお互いの国の食事、教育、観光地などなど、たくさん話をしました。

対面式では大泣きだった1歳の子どもは、ゲストにたくさん可愛がってもらって自分から近づいて行くようになりました。

大学の勉強だけでなく、アルバイトをかけもちながら頑張る姿に私たち家族も刺激をもらいました。また会おうねと約束をし、あっという間の楽しい2日間でした。素晴らしい出会いをいただき感謝しています。ありがとうございました。



遠藤 紫乃

チベットについての知識がほぼ無かった我が家に、色々なジャンルのチベット情報をもたらしてくれた留学生。食生活や習慣、イベント、教育制度、国民性など、多岐にわたる質問一つ一つに丁寧に答えて下さり、また、まだ小さい息子への語学教育についてアドバイスを求めた際には“興味

を持たせることが大事で、興味があれば無理なく習得でき、逆に早く学び始めても興味がなければ忘れてしまう”という的確な意見を下さり、主人も私もぐうの音も出ないほど納得（笑）。

4歳と1歳の子どもの遊びにも自然に付き合っただ下さり、二人ともいつの間にか留学生さんにびったりくっついていました。我が子たちも留学生のように、優しく、聡明に育てて欲しいと思ったほどです。2日間はあるという間で、もっと色々お話がしたいと思いましたが、SNSで繋がったので、今後ともお互いの情報を交換し合い、末永くお付き合いできたらよいなあと考えています。

チベットからの留学生さん、本当に楽しい時間を有難うございました。簡単にお会いすることは出来なくなりますが、チベットについて耳にする度に、あなたの素晴らしいお人柄とこの夏の貴重な経験に想いを馳せることを、今から楽しみにしています。どうぞお元気で。またいつの日か。

「台湾からの留学生をお迎えして」

北村 泰

今回のホームステイで、これまでに14カ国、そしてたぶん28人(?)のホームステイを引き受けたようです。

私が50年ほど前の高校2年生の時にハワイにホームステイをさせてもらったことがきっかけです。初めて我が家でホームステイを受けたのは大学生の時です。

ドイツの方をホームステイする予定でした。残念なことに豪雨で新潟へ入ることができずにホームステイも中止となりました。その翌年、アメリカからのユースシンフォニーと言う楽団員の高校生2人を受け入れたのです。



ところで、今回我が家に来られた留学生は台湾からの短期留学生として新潟大学にこの4月から学んでいるといます。9月には台湾へ帰るとおっしゃっていました。せっかく新潟、日本に来られたのですから、好きになって帰って欲しいのです。1日だけと言うホームステイはどうしても頑張りすぎる傾向があるようですが、私のできることで、泊りにくる人のやりたいことを調整することを一番だと思っています。

我が家でしたい事はどんなことか確認をしました。好奇心の旺盛な方なので、できる事は何でもしたいと言う事も言っておられました。今回若い男性と言うこともあって食べるものかなり意識しました。もっとも、我が家で料理をするのは男性である私です。そのため一般的な日本の家庭とは違うのです。その辺のことも彼には説明しました。手巻き寿司、カキフライを用意しました。もちろん日本酒にビールは忘れていません。トンカツ、カツ丼（タレカツではなく）など三食我が家で食べてもらいました。

ホームステイで決まって紹介するのが北方博物館です。日本や新潟を理解していただくためには最適な場所だと思います。努力をして豪農と呼ばれるようになったことが理解できます。水に苦しみながら農地を広げ今の水田地帯を作った新潟県民の努力を知る施設です。これも当初から変わらず続いています。



「留学生を迎えて」

小林 敏

「ホームステイは中国からの留学生です」と連絡が来ました。中国語が離せないで、孫に頼んでスマホの通訳アプリを起動してもらい、孫と話しながら「これなら日常行動くらいは意思疎通できる」と喜んで会場へ向かいました。

会場に留学生が数名到着していましたが、受け入れ側は私が1番でした。「どんな人が来るか？」と妻とドキドキしながら待っていました。

いよいよ本人に面会し、留学生が上手な日本語で挨拶をして来たので、2人でビックリ。喜びました。

私の車は軽自動の中古車で、暑いとエアコンの効きが悪いので少し我慢してもらい、新潟日報のおもしろしんぶん館に見学に行きました。中は冷房が効いて快適です。案内の人に「中国からの留学生です」と紹介すると、いろいろ親切に説明を下さりとても有意義な時間を過ごしました。隣のふるさと村にも寄り、アピール館の映画館で長岡花火の映画を見て、留学生10人で長岡へ行くこと喜んで見つめていました。

小学生5年の孫が用事で参加できず、私と妻でおもてなしです。夕食は日常の食事でキュウリ漬け、茄子漬けを出したら、初めて食べるのか妻にいろいろ質問していました。21歳なのでビールで乾杯した後、ワイン、日本酒、梅酒を試飲しながら特に妻と話が合う様子でいろいろな話をして夜が更けました。

朝、中国の料理で玉子とトマトの料理を、作り方を説明しながら作ってくれました。越後名物笹団子の材料を揃えて置いていたので、最初から作ってもらいました。粉を練る時、汗をかきながら一生懸命こねました。中に餡を入れ、笹の葉で包んで蒸します。自分で最初から作った団子は、きっとおいしかった！！と思います。

日曜も蒸し暑い日でしたが、昼から畑に行きスイカを収穫し試食しました。私の娘が1才の孫を連れて会いにきた時、孫が顔を見て泣いたのが残念でした。（人見知りです）

2日間楽しい時間をお互い得られたと思います。ありがとう！！

「夏の思い出」

佐々木 愛

我が家に来てくれたのはベトナムからの男の子の留学生です。このホームステイをどう過ごそうか一緒に話して考えたくて、まずは家に来てもらい候補をあげました。それでみんなで決めたのがアイススケートです。

私達もスケートに詳しくないので気付かなかったのですが留学生が選んで履いていた靴は“競技用”と係りの人に教えてもらい、せっかく履いたのにまた履き替えるというハプニングはありましたがなんとかスタート。

留学生は初めてということもあり、最初は苦戦していましたがすぐに歩けるようになってきました。そして最終的には少し滑れるようにもなりました。すごい！

寒いスケート場を後にし、次は自宅近くのイオンへ買い物です。

我が家の子どもたちはスーパーの試食が大好きなため、いつも通りアイス、パン、うなぎなど色々一緒に食べました(笑)。そう、この日は土用の丑の日でした。試食で留学生も食べられる事を確認出来たのでそれらを買って自宅で夕飯です。

キッチンではテュックが先ほどイオンで一緒に買ったベトナムのフォーを作ってくれました。私達がフォーを食べようとすると乾麺でしか手に入らないですがベトナムのフォーは生で、もっとモチモチしていること、そしてスープは作るのが難しいこと、だから屋台で買って食べることを教えてもらいました。いつか本場のフォーを食べてみたいと思いました。

次の日は私達の住んでいる町内のお祭りがあり、役員の仕事が朝から晩まであったので、午前のお神輿だけ付き合ってもらい、今回のホームステイは終わりを迎えました。本当はもっとゆっくりしてもらいたかったのですが…。

でも今後もしばらく新潟にいるということなのでまた一緒に思い出を作っていけたらなと思っています。

アルバイトをしながら学業に励み、更なる目標を持ち頑張り続けるテュックを家族一同応援しています。



高橋 祥子

20年前、自分もホームステイをしました。子どもも落ち着いて来ましたし、うちは少数家族なので賑やかにしてあげたいのもあって応募しました。

うちに来た方は、大人っぽく明るい方で、娘と姉妹の様に過ごしてくれました。一緒に互いの勉強をしたり、女子ですのでショッピングをしたり。

私はなるべく日本の事、特に新潟を味わってもらいたく、本人リクエストの肉じゃがやへぎそばを食べ、作り方も見てもらいました。

あとは、いただいた手紙を添削して、日本語は上手でしたが教えてあげました。

1泊2日でしたが、お別れは悲しく、長くなればなるほど辛くだらうなと思います。留学生も毎日、勉強に遊びに忙しくちょうどいいプログラムではないかと思います。また来年も参加したいです。

「初めてのホームステイ受け入れ」

弦巻 鈴子

図書館のポスターで、新潟市内の学校に通う留学生のホームステイだと知りました。きっとそれなりに日本語ができるだろうと躊躇することなく、やってみようと思い、夫と小学2年生の娘に、話をしてみました。娘は日本を愛してやまない外国人を日本に招待するテレビ番組が大好きできたから、きっとオッケーしてくれるだろうと思いました。ホームステイというものが、どのくらい娘に伝わったかわかりませんがオッケーをもらいました。

ホームステイの1週間程前に、我が家に来てくれるのはベトナムからの女の子の留学生だと分かりました。事前に電話番号を教えていただいたのでLINEでやりとりをしました。留学生は漢字もしっかりマスターしていてビックリしました。

当日は、県立植物園、温泉、駄菓子屋、北方文化博物館などに行きました。

温泉は、たまたま夕日が沈む時間とかぶったので、とてもきれいでした。彼女が温泉にいた人の中で1番リラックスしているようでした。

我が家の近所も散歩しましたが、色々と新鮮だったようでパシャパシャとカメラで撮影していました。セミの抜け殻も初めて見たそうです。（ベトナムにもセミはいるそうですが）私は『えー。新潟より都会に住んでいるのだな』と思いました。

今回、私と娘が1番驚いた事は、ベトナムにはエッグコーヒーという物があるという事でした。私達は『生卵をコーヒーに入れるの？えー、そんな恐ろしい』と驚愕してたら作り方の動画を見せてくれました。見たら、美味しそうでした。

留学生から貰ったベトナムの小さなポーチは使って、イヤリングはなくすといやなので、床の間に飾ってあります。

素敵な時間をありがとう。

「ホームステイを体験して」

富樫 景子

我が家にとって三回目のホームステイ受け入れでした。今回はタイから来日した女の子でした。

初日、夕ご飯のお買い物と灯籠祭りの見物に本町へ。一年という短い滞在では、万代や古町は行くことがあっても本町は行ったことがないと言っていました。若者が万代に惹かれるのは分かるのですが、本町のようなローカルな場所こそ訪れてほしい、何度か受け入れをして感じることです。見たことのない灯籠、日本の市場の雰囲気を楽しんでくれていたように思いました。その後は自宅で休みました。とはいえ、子どもが4人いる我が家は放っておくわけがなく…プールの水をかけたリ、ゲームをせがんだりと休まる状況ではなかったかな…とも思いますが、言葉が通じなくてもコミュニケーションが取れることを、お互いに感じ取ってくれたのではないかなと思います。夜は浴衣を着て夏祭りへ。帯が苦しい～と言っていました。それも良き思い出。長女は彼女が大好きだったようで、お風呂も就寝時も一緒でした。本当の姉妹のようで微笑ましい様子でした。

翌日は海へ。新潟の海、海の家でみんなで楽しく遊びました。

翌週、タイへ旅行に行く私たちのためにオススメの食事や観光地を教えてくれたり、子どもたちと遊んでくれたり。ホームステイは受け入れ家庭が一方的に何かをしてあげるのではなく、お互いが支えあい、楽しい時間を共有するものではないかなと思います。タイでは帰国日が重り、予定が合わず再会は出来ませんでした。きっと会えるね、とお別れをしました。

ホームステイをした直後に帰国される留学生が多いようですが、せっかくですので、その後も新潟で交流できるよう、ホームステイを留学期間の中間に設定して頂けると、個人的にはとても嬉しく思います。

言葉が通じなくても世界はボーダレス。ホームステイを通じていつも思います。素敵な出会いをありがとうございました。



藤井 仁美

ゲストも受け入れ側もホームステイは初めてだったので手さぐり状態でした。何を話せばいいのか、どれくらいのスピードで話せばいいのか分からず緊張していましたが、一緒におみそ汁を作ったり白山神社に行ったりするうちに次第に打ち解けていきました。夜には花札を一緒にやりましたが、日本独自のカードゲームのためか、大変興味を持ってくれました。

次の日のお昼にはへぎそばを一緒に食べました。相当美味しく感じてくれたようで、目を輝かせながら食べていました。初めてのホームステイ（受け入れ）でしたが、受け入れて良かったと思いました。

